

加東市東条福祉センター「とどろき荘」
令和7年度決算及び
令和8年度事業計画（案）について

令和8年7月9日

加東市東条福祉センター「とどろき荘」運営審議会

1 令和7年度事業報告及び決算について

入浴者数を維持しながら、収支バランスのとれた運営を目標にしました。

(1) 各種イベント及び主な行事

令和7年度の各種イベント及び主な行事については、下記のとおりです。

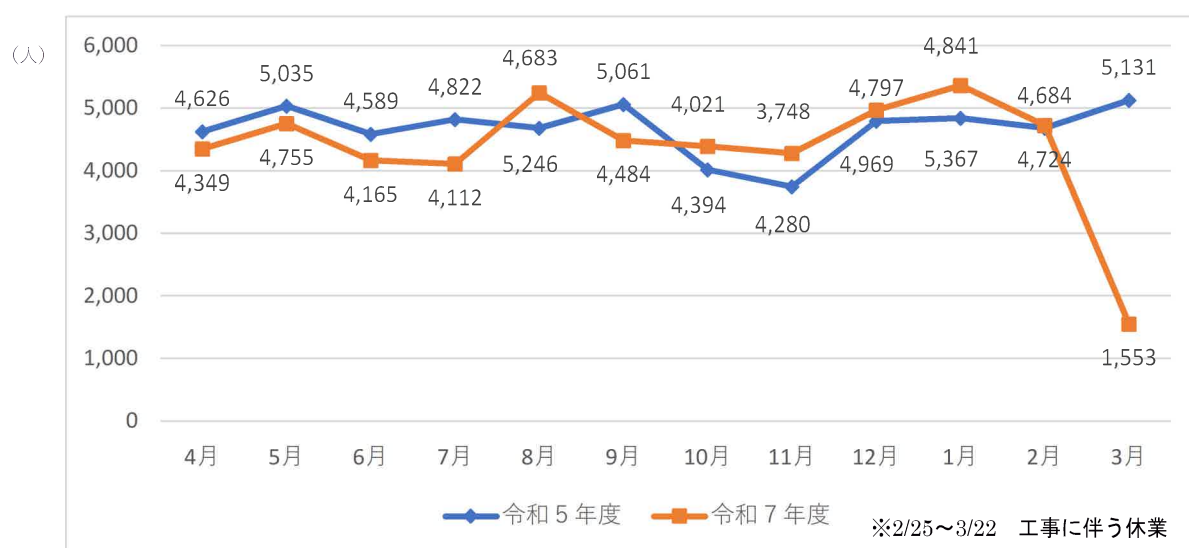
月 日	内 容
4月5日	とどろきカフェ 参加者88名
5月3日	とどろきカフェ 参加者96名
6月7日	とどろきカフェ 参加者55名
6月19日～24日	入浴券販売促進（毎度あり）キャンペーン①
7月5日	とどろきカフェ 参加者86名
8月2日	とどろきカフェ 参加者58名 （東条学園から8名の生徒ボランティア受け入れ）
9月7日	とどろきカフェ 参加者63名
10月4日	とどろきカフェ 参加者69名
10月6日～10日	トライやるウィーク（東条学園から8年生1名の受け入れ）
11月1日	とどろきカフェ 参加者64名
11月15日～16日	東条地域ミニ文化祭（マグロ解体ショー）
12月6日	とどろきカフェ 参加者63名
12月18日～23日	入浴券販売促進（毎度あり）キャンペーン②
1月10日	とどろきカフェ 参加者97名
1月11日	和太鼓であったかIN とどろき 参加者約100名
2月7日	とどろきカフェ 参加者58名
2月25日～3月22日	自動制御盤等改修工事に伴う浴室の休業
3月7日	とどろきカフェ 参加者69名
3月23日～31日	入浴券販売促進（毎度あり）キャンペーン③

(2) 入浴者数の状況

令和7年度の入浴者数は自動制御盤等改修工事による約1か月の休業の影響があり、52,398人となりました。通常営業ができていた期間の入浴者数は令和5年度と同程度だったため、休業がなかったと仮定すれば、令和5年度と同程度の約56,000人の入浴者数があったと見込んでおります。

下図に、令和7年度と令和5年度の入浴者数を比較しました。

※令和6年度は約4か月の休業があったため、令和5年度と比較しています。



(3) 収支状況

収入については、当初予算額に対し、1,033千円減の55,893千円となりました。

- ・指定管理料では、電気代の急騰に対する補填の精算の結果、620千円の減収
- ・入浴料では、447千円の減収
- ・貸館・テナント使用料では、237千円の減収
- ・収益事業では、271千円の増収

支出については、当初予算額に対し、1,648千円減の55,278千円となりました。

- ・人件費では、1,031千円の増額
- ・事業費では、電気料金削減に向けた取組の効果及び工事に伴う休業等の影響により、3,328千円の減額
- ・事務費では、修繕費・保守料の増加及び消費税納税額の増額により、649千円の増額

収支差額については、615千円の黒字となりました。

(4) 令和7年度運営状況推移

次ページの表は、令和7年度の入浴者数及び収支の推移をまとめたものです。

<令和7年度 入浴者数・収支の推移>

① 入浴者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	参考入浴者数（※）
R6年度入浴者数	4,371	4,559	4,602	4,483	0	0	0	1,051	4,788	5,347	5,146	5,274	39,621	33,296
R7年度入浴者数	4,349	4,755	4,165	4,112	5,246	4,484	4,394	4,280	4,969	5,367	4,724	1,553	52,398	32,441
前年度比（％）	99%	104%	91%	92%	-	-	-	407%	104%	100%	92%	29%	132%	97%

※参考入浴者数は、工事による休業期間（8月～11月、3月）を除く期間の入浴者数

② 収支

（収入）

（単位・千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R7当初予算額	実績との差額
指定管理料	11,135	0	5,762	0	0	0	4,565	0	0	0	2,115	103	23,680	24,300	▲ 620
入浴料	1,749	1,997	3,388	1,491	2,258	3,244	1,765	1,906	5,145	1,741	1,730	2,687	29,101	29,548	▲ 447
貸館・テナント使用料	170	377	136	161	132	145	137	148	167	180	186	110	2,049	2,286	▲ 237
土産物等収入	38	124	14	154	207	▲ 148	89	512	▲ 109	56	89	37	1,063	792	271
計	13,092	2,498	9,300	1,806	2,597	3,241	6,556	2,566	5,203	1,977	4,120	2,937	55,893	56,926	▲ 1,033

※2/25～3/22まで工事休館

※3月の指定管理収入は、工事に伴う休業補償（1,479千円）から電気料金精算額（1,376千円）を差し引いた額

（支出）

（単位・千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R7当初予算額	実績との差額
人件費	1,795	1,858	2,587	375	4,020	3,124	1,945	1,824	4,107	2,196	1,872	2,736	28,439	27,408	1,031
事業費	2,098	1,058	1,562	1,085	1,997	1,122	1,709	1,130	1,976	1,346	2,189	798	18,070	21,398	▲ 3,328
事務費	434	614	454	899	760	1,633	254	993	575	269	450	1,434	8,769	8,120	649
計	4,327	3,530	4,603	2,359	6,777	5,879	3,908	3,947	6,658	3,811	4,511	4,968	55,278	56,926	▲ 1,648

（収支差額）

（単位・千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	収支差額	実績との差額
（収入－支出）	8,765	▲ 1,032	4,697	▲ 553	▲ 4,180	▲ 2,638	2,648	▲ 1,381	▲ 1,455	▲ 1,834	▲ 391	▲ 2,031	615	0	615

２ 令和８年度事業計画（案）について

令和７年度は、工事に伴う休業の影響がありましたが、入浴者数増加に向けた取組の効果があり、通常営業期間において入浴者数を確保できました。また、入浴単価が改善されたことにより黒字になりました。（令和７年度：５５５円/人、令和６年度：５２１円/人）

令和８年度は、令和７年度に実施し効果のあった事業を引き続き行うとともに、経費削減や入浴者数増加に向けた取組を行い、収支バランスのとれた運営を目指します。主な取組は下記のとおりとします。

（１）各種イベントとの相乗効果

現在は、とどろき荘の利用者だけでなく、公民館サークル利用者等との交流も増え、企画できるイベントの幅が広がっています。地域の憩いの場とするため、下記のような各種イベントを企画し、とどろき荘に足を運んでもらう機会を増やします。

＜令和８年度の計画＞

- ・東条ミニ文化祭への協賛
- ・とどろきカフェでのイベント
- ・なんでも介護相談
- ・児童・生徒の作品展示
- ・行政との連携（入浴プラス事業等）ほか

（２）電気料金削減に向けた取組

電気の使用状況をさらに分析し、電気料金の削減を図ります。

また、デマンド装置を有効活用し、エアコンや機械の稼働時間、貯湯槽の運転方法を分析し、集中した使用を防ぐことにより最大電力を抑え、基本料金の削減を図ります。

（３）収益事業の活性化

利用者が手に取りやすい配置に土産物等の販売スペースを変更したことにより、土産物等の売上が増加しております。

利用者からの声や反応を見ながら、仕入れ商品を検討するとともに、地元企業や、地域住民が作る商品を仕入れることで、地域の集いの場としての活性化や、売上増に努めます。

これまでに効果のあった取組は継続するとともに、経費削減、入浴者数増加に向けた取組を進めていきます。また、地域住民が気軽に集まることのできる施設を目指し、

福祉センターとしての役割を果たすことができるよう運営していきたいと考えています。館内には、温泉の効能や、季節に合った入浴法を掲示する等、温泉についても積極的なPRを行うことでイベント等の参加者を入浴に繋げます。

令和8年度は上記の取組を進め、収支バランスの取れた運営を目指します。

<令和8年度 入浴者数・収支の推移>

① 入浴者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R7年度入浴者数	4,349	4,755	4,165	4,112	5,246	4,484	4,394	4,280	4,969	5,367	4,724	1,553	52,398
R8年度入浴者数	4,393	4,971	4,248	4,194	5,351	4,574	4,482	4,408	5,118	5,528	5,133	0	52,400
前年度比（％）	101%	105%	102%	102%	102%	102%	102%	103%	103%	103%	109%	0%	100%

② 収支
(収入)

(単位・千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
指定管理料	12,000	0	5,000	0	0	0	5,000	0	0	0	2,162	1,883	26,045
入浴料	1,340	1,846	3,685	1,677	2,489	3,532	1,967	2,117	5,444	1,942	2,257	0	28,296
貸館・テナント使用料	157	296	145	161	142	147	147	148	167	180	186	152	2,028
収益事業	100	63	103	193	296	▲ 109	127	489	▲ 70	95	128	90	1,505
計	13,597	2,205	8,933	2,031	2,927	3,570	7,241	2,754	5,541	2,217	4,733	2,125	57,874

(支出)

(単位・千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人件費	1,886	1,421	4,146	2,294	2,294	2,578	2,294	2,294	4,273	2,293	2,293	1,718	29,784
事業費	1,816	1,141	1,897	1,116	2,111	1,274	1,685	1,129	2,103	1,296	2,182	760	18,510
事務費	203	551	453	1,778	760	1,740	254	1,394	574	285	131	1,369	9,492
計	3,905	3,113	6,496	5,188	5,165	5,592	4,233	4,817	6,950	3,874	4,606	3,847	57,786

(収支差額)

(単位・千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(収入－支出)	9,692	▲ 908	2,437	▲ 3,157	▲ 2,238	▲ 2,022	3,008	▲ 2,063	▲ 1,409	▲ 1,657	127	▲ 1,722	88

とどろき荘の今後の運営方針について

1 運営方針

東条福祉センターとどろき荘の運営方針は、加東市公共施設保全計画（令和8年3月改訂）により、下記の方針となっています。

東条福祉センターとどろき荘の運営について、方向性としては存続であるが、計画期間中（令和17年度まで）に温浴施設の廃止を含めた転用を検討し、今後の方針（方向性）を決定する。

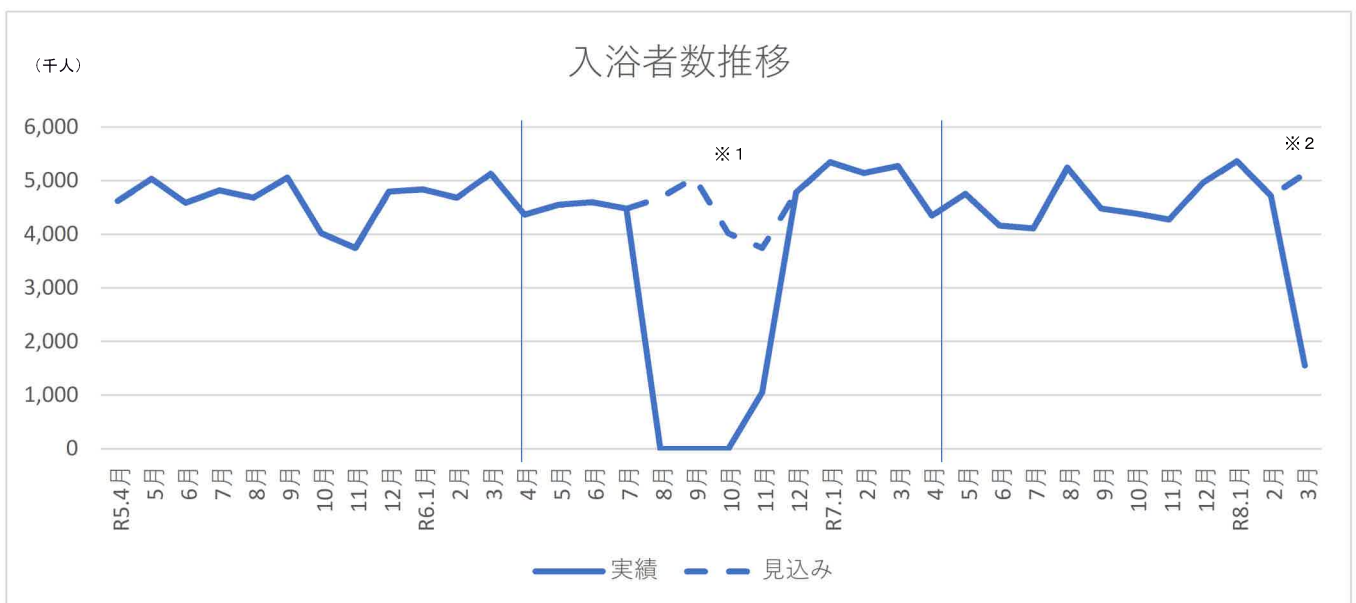
2 入浴者数の状況（令和5年度以降）

令和5年度は、年間目標入浴者数 56,000 人程度を目標として運営し、入浴者数は 56,038 人でした。入浴者数増加に向けた取組の効果があり、目標を達成することができました。

令和6年度は、浴室棟屋根等改修工事の影響により、約4か月間休業したことで入浴者数は 39,621 人となりました。ただし通常営業していた期間については、令和5年度の入浴者数をわずかに上回っており、通常営業ができておれば、56,000 人程度の入浴者があったと想定されます。

令和7年度は、自動制御盤等更新工事の影響により、約1か月間休業しました。入浴者数は、52,398 人となりました。令和7年度においても、通常営業ができていたと仮定すると令和5年度と同程度の入浴者があったと想定されます。

令和5年度から令和7年度末までの入浴者数の状況は、下記のとおりです。



※1 116日間休業（浴室棟屋根等改修工事：8.1～11.24）

※2 26日間休業（自動制御盤等改修工事：2.25～3.22）

（注）点線部は、工事による休業がなかったと仮定した場合の入浴者数の見込み

年間入浴者数

（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入浴者数（実績）	56,038	39,621	52,398

3 収支の状況

令和5年度は、収支バランスのとれた運営をするため、ポイントカードの廃止等に取り組んだことで、大幅に入浴単価が向上し、129千円の黒字となりました。

令和6年度は、工事による休業に対する補償もありましたが、収入が大きく減少し、1,966千円の赤字となりました。

令和7年度は、入浴単価の向上や、支出額削減の取組により、615千円の黒字となりました。

（単位：千円）

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	指定管理料	20,030	25,792	23,680
	入浴料	28,373	20,632	29,101
	貸館・テナント	2,251	2,136	2,049
	収益事業	1,442	609	1,063
	計	52,096	49,169	55,893
支出	人件費	25,528	26,006	28,439
	事業費	17,073	15,913	18,070
	事務費	9,366	9,216	8,769
	計	51,967	51,135	55,278
収支差額（収入－支出）		129	▲1,966	615
（参考）入浴料単価（円/人）		506円	521円	555円

4 修繕・工事

令和5年度から令和7年度にかけて実施した修繕・工事は下記のとおりです。

年度	工事名	金額（千円）
令和5年度	女子高温風呂系統熱交換器部材取替修繕	612
	男女温泉ろ過機用ルートヘアキャッチャー取替修繕	597
	源泉設備修繕	706
	H T－1 ポンプ送水ルート漏水修繕	682
	計	2,597
令和6年度	浴室棟屋根等改修工事	90,175
	給湯チラーR-8 熱交換器修繕	546
	高圧機器修繕工事	924
	ポンプ室等設備修繕	561
	高架タンク送水配管修繕	714
	男女水風呂薬注用システム等修繕	770
	計	93,690
令和7年度	自動制御盤等更新工事	35,996
	H T－2 送水ポンプ等修繕	892
	H T－1 熱交換器修繕	1,131
	源泉送水ポンプNo.2 修繕	750
	男子立シャワー洗い場水栓取替修繕	576
	計	39,345
	合計	135,632

5 とどろき荘の強みと課題

毎年実施しているアンケートを分析すると、とどろき荘の入浴者は「60代以上の高齢者が約8割を占めており、日常的に入浴されている方が多い。東条地域のみではなく、社地域や市外（三木市・小野市等）からのお客さんも多い。」という結果が出ております。

工事に伴う休業があっても、営業再開した直後から入浴者数が回復していることからとどろき荘が日常的に利用されており、生活の一部になっていることが感じられます。

これらの利用者からは「とどろき荘の泉質は他の施設より良い。体の芯から温まり冷めにくい。」という意見も多く、泉質の良さや常連客の多さが強みです。

課題としては、常連客が多い反面、新規顧客の獲得やそのためのPRを行っていくことが必要だと考えております。

6 今後の運営方針

当指定管理期間（令和5年度～令和9年度）においては、令和6年度及び令和7年度で休業を伴う工事を実施した影響で目標としていた収支バランスのとれた運営を行うことが難しい状況でした。そのような中でも令和7年度は入浴単価の改善や経費の削減に取り組み、615千円の黒字となりました。

直近3年間に於いて、通常営業ができていた期間の入浴者数は安定しており、入浴単価も改善されています。入浴料収入は、現在の浴室への改修以降（平成29年度）、令和7年度が最高額となっており、入浴単価改善に向けた取組の効果が表れています。

今後、2040年頃までは、高齢者が増加し続けると予想されております。とどろき荘の入浴者のうち、60歳以上が約8割を占めていることから入浴者の維持は可能であると見込んでいます。

一方で、昨今の諸経費の値上がりの状況から、入浴料金値上げの検討が必要であると考えております。ただし、入浴料金の安さはとどろき荘の強みでもあるため、近隣温浴施設の動向を見ながら検討していきます。

令和9年度以降については、長期の休業を伴う工事の予定はないため、通常営業ができると想定しており、収支バランスの取れた運営を行うことは可能であると見込んでいます。

しかし、今後も施設・設備の老朽化の影響から修繕や更新工事を実施するため、定期的に修繕費が必要となります。更新工事等の実施や今後の運営については、維持管理のために必要となる費用と運営状況等のバランスを踏まえて検討します。